

平成 30 年度 豊橋技術科学大学同窓会 第 2 回役員会議事録 (案)

日時： 平成 31 年 2 月 13 日 (水) 18:30 – 19:50

場所： 豊橋技術科学大学 C 棟 402 会議室

議事録： 宮路 (2 系)

出席者 (順不同, 敬称略) :

古野会長, 戸高 (1 系), 安部 (1 系), 田崎 (1 系), 秋月 (1 系), 宮路 (2 系), 川島 (2 系), 坂井 (2 系), 栗田 (4 系), 松本 (5 系), 中村 (情報メディア基盤センター), 蒲原 (IGNITE), Tan (総合教育院)

【配布資料】

- 資料 1 同窓会報 No. 37 の作成状況について
- 資料 2 卒業記念パーティー招待状
- 資料 3 めざましご飯の反応と今後の対応 (次年度に向けて)

【議題】

1. 同窓会報 No. 37 作成状況

資料 1 に基づき, 中村先生 (情報メディア基盤センター) より説明があった。今年度の会報では, 豊彩会活動報告, めざましご飯実施報告が新たに掲載されている。現在, 第 1 校の確認期間 (期限は 2 月 18 日) であり, 3 月 20 日の納品をもって同窓会報の完成とする。制作費用は, 総額 303,600 円を予定しており, 昨年度の 304,000 円とほぼ同額である旨の説明があった。古野会長より web での公開を今年度中に実施して欲しいとの要望があった。併せて, 校正のタイミングでパーティー支援の金銭面などの情報記載を充実させて欲しいとの要望があった。それぞれについて, 中村先生, 栗田先生 (4 系) が対応する。

2. 2018 年度会長賞

資料 2 を基に, 卒業式後の卒業記念パーティーにて執り行われる会長賞授与式について議論した。例年通り, 卒業式後の卒業記念パーティーにて授与式を行うことを確認した。古野会長より, 資料 2 に記載されている式次第に授与式が漏れているとの指摘があり, 稲田先生を通じて修正依頼が行われることが確認された。各系の表彰対象者の決定期限が 2 月 22 日 (金) であり, 表彰者情報をもとに栗田先生 (4 系) が表彰状・副賞を準備する。また, 同窓会役員の中から当日のサポートを 3 名ほど必要である旨が連絡された。

3. 大学卒業生支援室との連携進捗と強化案

戸高先生（1系）より大学側（卒業連携室）で検討していた卒業生情報管理システムの平成30年度中の導入が見送られた旨の説明があった。見送られた要因は、金銭面とスケジュール面が大きい。中村先生（情報メディア基盤センター）より、現行の管理システムの主契約者を同窓会から大学にするか、大学で管理システム専用のサーバを用意するかが論点であることの補足があった。（大学で専用のサーバを用意する場合、費用が高くなる。）

現在、議論の主導権がどちらにあるのかが不明なため、戸高先生が滝川先生（2系）もしくは植松さんを通じて議論を再開させることの確認がなされた。

4. 名簿管理システムの最新状況

田崎先生（1系）より名簿管理システムの状況について報告があった。現在システムに登録されている名簿リストが約20,600件あり、そのなかで有効なメールアドレスの件数は約4,300件であることが説明された。加えて、名簿管理システムに関する問い合わせが月に5件程度届くことが述べられた。

次年度以降も名簿管理システムの管理業務が必要であり、事務補佐を引き続き村井さんに依頼することについて議論し承認された。

有効名簿数を向上させるための議論では、主に以下の策が挙げられた。

- 関東地区、関西地区などの地域の枠組みを利用した活動
- 有効名簿数を増やした同窓会員への報奨制度

5. めざましご飯の反応と今後の対応（次年度に向けて）

資料3に基づき、秋月先生（1系）より説明があった。2018年5月からプレミアムマンデーが実施されており、月ごとの食数の推移結果が資料3に示されている。図2（右：食堂稼働日数で正規化）より、プレミアムマンデーの実施によって月曜日の食数が伸びていることが確認できる。またアンケートのコメントからも好評な様子が見える。一方で、パン（特に食パン）が残りがちであることもわかったため、次年度も継続する場合はサービス内容を食堂側と調整する必要がある旨が述べられた。また、次年度もめざましご飯の支援を継続することが承認された。

6. 次年度に向けての事業案

次年度（次年度以降も含める）に向けての取り組みとして、以下の案が挙げられた。

イ) パーティー支援等の活動状況をメールでも通知することで、報告と広告を兼ねる。

パーティー支援を利用している団体は固定化していることや若い世代からの応募が少な

いことから、メールを利用した取組みにより応募者の間口を広げる。併せて、現在のメール通知は大学発信（会報、TUT Research など）がメインのため、同窓会発信を増やす。

ロ) 同窓会代行サービスを利用することで、主催者の負担軽減

長期的な活動を視野に入れ、同窓会代行サービスを利用することで、4. で議論した地域の活動や本部同窓会の実施における主催者の負担を軽減し、交流の活性化を図る。

イ) の取組みを実施するために、パーティー支援の募集要項に活動報告のメール配信に関する記載が決定した。

7. （追加議題）パーティー支援での中退者の扱いについて

栗田先生（4 系）よりパーティー支援での中退者の扱いについての追加議題が挙げられた。現在、パーティー支援を申請している団体に中退者が含まれていることが確認された。現状のパーティ支援の募集要項では卒業生と記載されているが、同窓会員の定義としては中退していても会員の手続きがされていれば正会員であり、齟齬が生じている点が指摘された。議論の結果、募集要項を卒業生から正会員に修正することと、栗田先生の作成する修正案をメール審議することが決定した。

以上